

羽咋市の概要



羽咋市は石川県・能登半島の基部西側に位置します。ほぼ中央に広がる邑知潟低地の平野部を囲んで海手山手に集散しています。
(2024年7月1日現在)
人口 19,652人、世帯数8,468世帯

羽咋の名は、神話に由来し、遠い昔、この地域に出現していた“怪鳥”を、磐衝別命（イワツクワケノミコト）という皇子が3匹の犬とともに退治。犬が怪鳥の羽を喰ったことから、「羽咋（はくい）」という地名が誕生しました。現在でも神話にゆかりのある遺跡（古墳）が残されているほか、二千年の歴史を持つ『唐戸山神事相撲』が毎年開催されています。そのほかにも、数多くの重要な文化財や勇壮な祭など古くからの歴史が息づく場所です。

また、羽咋市の名所である『千里浜なぎさドライブウェイ』は「2016トリップアドバイザー日本のビーチ第1位」にも選ばれ、全長8kmもの海岸線のビーチをクルマで走ることができる奇跡のような砂浜のドライブウェイです。



企業版ふるさと納税プロジェクト

令和6年能登半島地震

令和6年1月1日発生の能登半島地震により、石川県羽咋市でも被害が発生しております。被害を受け、復旧事業や今後の防災対策に向けた災害支援に向けた寄付を受け付けております。

企業版ふるさと納税プロジェクト

輝く羽咋デジタル総合戦略

女性や若者を惹きつけ、こどもが健やかに育ち、暮らし続けられる羽咋をつくる

I 働く場と、 多様な働き方が できる環境をつくる

- 1 多様な就労支援
- 2 就農支援と羽咋ブランドの強化
- 3 創業・起業へのチャレンジ支援
- 4 新産業・新事業への支援

II 新たなひとの 流れをつくる

- 1 地域資源を生かし、デジタル技術を活用した誘客の促進
- 2 インバウンドツーリズムの推進
- 3 羽咋の玄関口を起点とした賑わいの創出
- 4 移住・関係人口の拡大、都市部との共創

III 女性や若者、こどもに 寄り添った生活・ 教育環境をつくる

- 1 出会いの場の提供、結婚支援の強化
- 2 妊娠・出産・子育てまでの総合的支援の充実
- 3 利便性の高い住環境の整備と住宅再建に係る総合的なフォローアップ
- 4 こどもたちの高い学力の維持
- 5 ひとり親家庭への支援の強化
- 6 女性活躍の社会と交流の場の創出

IV 安全・安心な 生活環境を つくる

- 1 公共施設の計画的な最適化、都市基盤の維持
- 2 市民の暮らしを守る防犯・防災・減災体制の構築
- 3 市街地と地域を結ぶ有機的な公共交通網の構築

V ともに暮らし、学び 続けられる まちをつくる

- 1 誰もが生涯活躍できるまちの構築
- 2 各地域の現状にあった地域づくり、支えあいの仕組みの浸透
- 3 こどもから高齢者までの幅広い見守り体制の構築
- 4 郷土教育の推進
- 5 ウィズコロナ・アフターコロナに対応した地域経済の支援・強化

VI スマートシティを 推進する

- 1 マイナンバーカードの利活用拡大
- 2 ビッグデータの有効活用
- 3 産学官連携によるデジタル技術を活用したまちづくり
- 4 デジタルディバイドの解消とデジタル人材の活用
- 5 再生可能エネルギーを活用した地域づくり